

インキュベーション事業の概要

平成20年3月3日

地域イノベーション研究会事務局

経済産業省が支援したインキュベーション施設の現状

○経済産業省が設置を支援したインキュベーション施設は、全国に176施設(H19年3月時点)。

○これらのインキュベーション施設においては、16年度から18年度における卒業企業(事業拡大のために施設を退去する企業)の累計は、673件にのぼるなど、地域産業の活性化に貢献している。

経済産業省支援インキュベーション施設数

実施主体	施設数
(独)中小機構設置	24
自治体設置	119
3セク設置 (中小機構が出資)	33
合計	176

(平成19年3月末時点:経済産業省調査)

経済産業省支援インキュベーション施設の実績

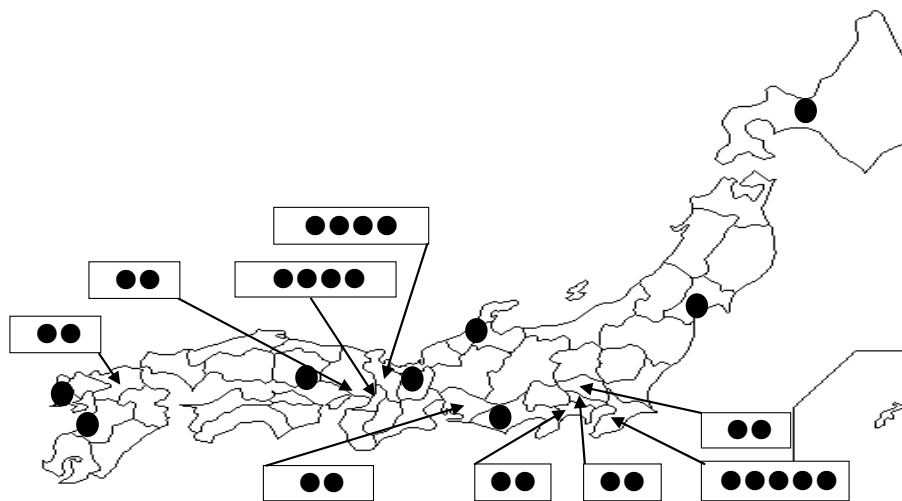
運営状況	16年度~18年度累計
入居企業数(注)	2,206
入居率(室数ベース)(注)	88.6%
会社設立数(社)	311
卒業企業数(社)	673
商品化件数(件)	6,210
新規雇用(人)	5,465
産学等共同研究件数(件)	1,630
特許取得件数(件)	851

(注)入居企業数及び入居率は19年3月末時点の数字
(平成19年3月末時点:経済産業省調査)

中小機構のインキュベーション施設

- ・(独)中小企業基盤整備機構(中小機構)は、29のインキュベーション施設を整備。(H20年1月末(H12FY~H19FYに整備))〔H19年3月末時点では、24施設〕
- ・主に、各地大学の構内・近隣地、各地の産業集積計画の拠点に立地。
- ・入居率は、93%(18年度実績)であり、相当程度活用されている。
- ・H16年度以降に開設された施設が、29施設のうち24施設であるところ、その卒業企業数等の実績を評価するのは時期尚早と考えられるが、産学等共同研究件数、特許取得件数では高い値となっており、入居企業の今後の発展が期待される。

中小機構インキュベーション施設
(整備済みの29施設(H20.1末)及び整備中の4施設)



運営状況	18年度実績 (注)	入居企業数に 対する比率
入居企業数	368	
入居率(賃貸面積ベース)	93%	
会社設立数(社)	25	7%
卒業企業数(社)	22	6%
商品化件数(件)	124	34%
新規雇用(人)	287	0.78
産学等共同研究件(件)	198	54%
特許取得件数(件)	118	32%

(注)H18年9月以前にオープンした20施設に係るデータ
(中小機構調査)

地方自治体のインキュベーション施設(経産省の補助案件)

- ・H19年3月末で、119施設につき、補助を実施(H9FY~H18FY)
- ・入居率は87%(18年度実績)であり、相当程度活用されている。
- ・会社設立数、卒業企業数、商品化件数などが比較的高い値となっており、インキュベーション施設は入居企業の活性化に貢献していると考えられる。

地方自治体インキュベーション施設等の整備状況 (経産省が補助した119施設)

(平成19年3月末時点)

ブロック	インキュベーション施設数
北海道	1
東北	16
関東	40
中部	11
近畿	23
中国	8
四国	7
九州	13
合計	119

運営状況	18年度実績	入居企業数 に対する比率
入居企業数	1,310	
入居率(室数ベース)	87%	
会社設立数(社)	93	10%
卒業企業数(社)	208	16%
商品化件数(件)	2,809	214%
新規雇用(人)	1,811	1.38
産学等共同研究件数(件)	427	33%
特許取得件数(件)	253	19%

(経済産業省調査)

成功しているインキュベーション事業の特徴

・「ロケーション」や「ネットワーク形成支援」が充実している。

インキュベーション施設	ロケーション	ネットワーク形成支援
東大柏ベンチャープラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学(柏キャンパス内)に隣接 ・隣接して、東葛テクノプラザが立地 ・周辺には、東京大学、千葉大学、国立がんセンター等が立地し、産学官連携に適したロケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学をはじめ、地域の大学(千葉大学、東京理科大学)等との産学官連携を推進 ・入居企業に加え、地域企業の支援やBIネットワーク形成活動等を展開 <p>【関連する産業クラスター計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東葛川口つくば(TX沿線)ネットワーク支援活動 ・首都圏バイオ・ゲノムベンチャーネットワーク
京大桂ベンチャープラザ(北館・南館)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学(桂キャンパス内)に隣接 ・桂イノベーションパーク(KIP内)に立地 ・施設内に、「開放型実験室」(京大サテライトラボ)、「京都市イノベーションセンター」(京都市が設置)を併設 ・KIP内には、JSTイノベーションプラザ京都等も立地し、産学官連携に適したロケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・京大をはじめ、地域の大学と地域企業等とのネットワーク形成、産学官連携を推進する「桂COT事業」を実施 <p>【関連する産業クラスター計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西バイオクラスタープロジェクト
慶応藤沢イノベーションビル	<ul style="list-style-type: none"> ・慶応義塾大学(湘南藤沢キャンパス内)に立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・慶応義塾大学をはじめとした、地域の大学等との産学官連携を推進 <p>【関連する産業クラスター計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏情報ベンチャーフォーラム

インキュベーション施設	ロケーション	ネットワーク形成支援
上田市産学官連携支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学(上田キャンパス内)に立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学をはじめ、地域の教育機関(長野高専、長野県工科短大)との産学官・産産連携を推進 ・製造中小企業187社とのネットワーク 【関連する産業クラスター計画】 ・中央自動車道沿線ネットワーク支援活動
花巻市起業化支援センター 花巻市ビジネスインキュベータ	<ul style="list-style-type: none"> ・センターは花巻第一工業団地内に立地 ・センター内に岩手大学複合デバイス技術研究センターを立地 ・センターと駅前に立地するビジネスインキュベータが連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手ネットワークシステム(INS)への参画を通じた大学・公設試等との幅広いネットワークの構築 【関連する産業クラスター計画】 ・TOHOKUものづくりコリドー

インキュベーション事業を効果的に推進する方策

- ・インキュベーション事業においては、地域の状況に合わせ、適切なロケーションにおいて、ハード施設整備の支援とソフト支援を、適切に組み合わせて実施することが効果的。

A: 既に相当の研究機関の集積がある地点

○中心支援対象者

- ・大学発ベンチャー(大学等の研究者主導の新規事業)

○設置するインキュベーションの機能

- ・大学等の研究機関のシーズの産業化のためのレンタル・スペースの整備・拡充

○想定されるソフト支援等

- ・インキュベーションマネージャーによる金融機関等とのコーディネート
- ・分野別の各拠点間交流の支援、技術開発予算の重点配分 等

B: 大学等の知的インフラがある地点

○中心支援対象者

- ・地元企業(大学等の研究者からの協力を得た新規事業)

○設置するインキュベーションの機能

- ・大学等の機関の周辺の産業の活性化のためのレンタル・スペースの整備・拡充
- ・地域の企業が広く利用できる、試験機器等を置いたオープンファシリティ施設の配置
- ・その他、人材育成機関(トレーニングセンター)、共用会議室等の配置 等

○想定されるソフト支援

- ・インキュベーションマネージャーによる金融機関等とのコーディネート
- ・各地域の中核的支援機関との連携強化、A類型拠点との支援人材ベースの交流支援等

東大柏ベンチャープラザ

施設概要: 床面積 2856㎡
: レンタルスペース 34室

成功の鍵

東京大学との連携及び隣接する地域プラットフォーム（東葛テクノプラザ）との連携による、総合的な産学官支援体制の構築

概要

- 東大(柏キャンパス)、東葛テクノプラザ、国立がんセンター等が立地する、産学官連携に適したロケーション
- 東葛テクノプラザとの相互協力による、一体的な支援体制を構築
- 入居企業支援に加え、地域企業支援やBIネットワーク形成活動等も積極的に実施
- 東葛川口つくば(TX沿線)ネットワーク支援活動、首都圏バイオ・ゲノムベンチャーネットワークとの連携体制を構築

地域の支援体制

- 千葉県
- 柏市
- (財)千葉県産業振興センター 等



連携ネットワーク

- 東京大学
- 東京理科大学
- 千葉大学
- 東葛テクノプラザ 等



地域への経済波及効果

- (平成19年3月末時点)
- 入居企業数(入居率): 13社(98%)
 - 会社設立数: 1社
 - 卒業企業数: 2社
 - 商品化件数: 9件
 - 新規雇用: 85人
 - 産学等共同研究件数: 36件
 - 特許取得件数: 30件
 - 東大をはじめ、東京理科大学、千葉大学等、地域の大学等との産学官連携事業の促進、活性化。
 - 主な入居企業
- 【A社】**
東大等との共同研究により、食品の細胞組織をほぼ壊さずに冷凍保存できる、新しい冷凍保存システムを開発。アイルランド政府等への納入も決定。
- 【B社】**
東大等との共同研究により、抗ガン剤等の医薬品研究開発を行うB社は、本年3月に、東証マザーズへの上場を予定している。

<主な関係機関>
 (独)中小企業基盤整備機構、東京大学、千葉県、柏市、
 (財)千葉県産業振興センター、地域の企業等

京大桂ベンチャープラザ

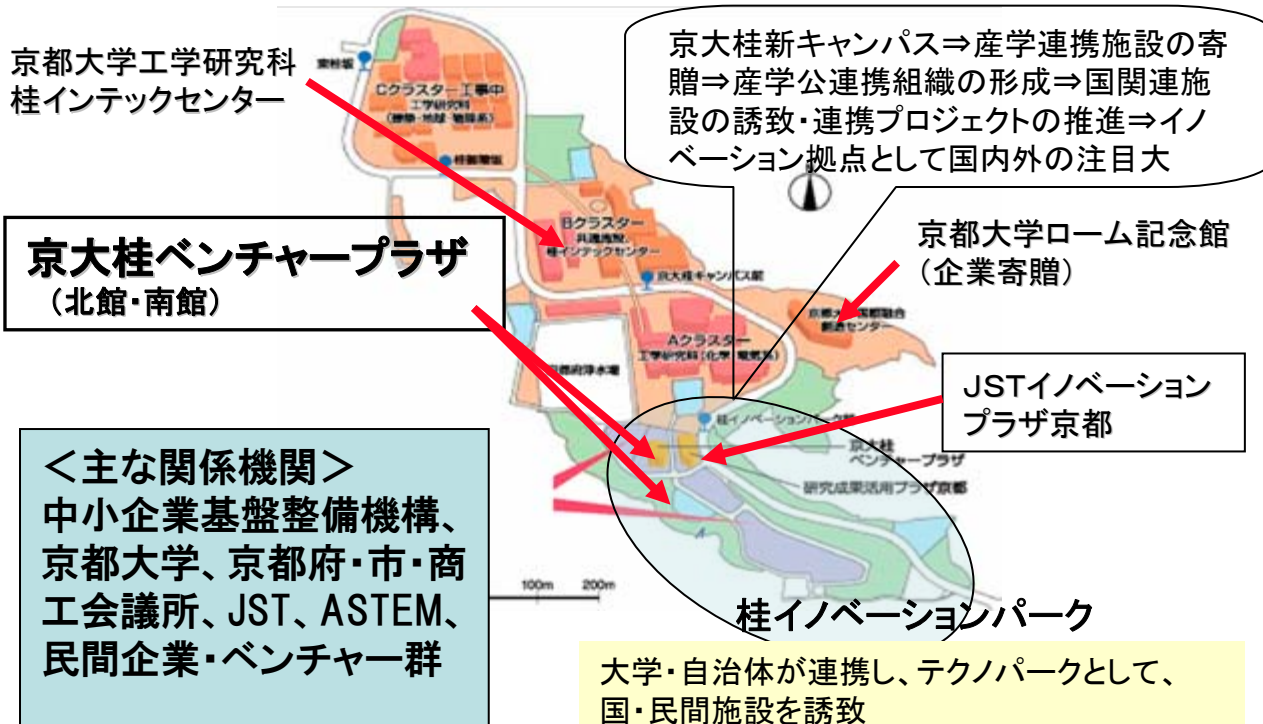
施設概要:床面積 5246㎡ (北・南館)
:レンタルスペース 55室

成功の鍵

京大桂キャンパスを核とした新産業創出イノベーションパークの形成と 産学官連携によるインキュベーションシステムの確立

概要

- 京大桂キャンパス及び桂イノベーションパークを拠点とした、先端・シーズ研究から、商品・事業化促進研究、ベンチャー起業インキュベーション<京大桂ベンチャープラザ>の一連の事業
- 施設内に「開放型実験室(京大サテライトラボ)」や「京都市イノベーションセンター」を併設。京大をはじめ、地域の大学と地域企業等とのネットワーク形成、産学官連携等を推進する「桂COT事業」を実施
- 「JSTイノベーションプラザ京都」に隣接し、企業支援等に係る連携体制を構築
- 関西バイオクラスタープロジェクトとの連携体制を構築



地域への経済波及効果

<北館> (平成19年3月末時点)

- 入居企業数(入居率):19社(98%)
- 会社設立数:1社
- 卒業企業数:4社
- 商品化件数:14件
- 新規雇用:27人
- 産学等共同研究件数:40件
- 特許取得件数:17件
- 京大での海外も含む産学連携事業の促進・加速化、地域連携活動の活性化
- 主な入居企業の例

【A社】

微生物の世界的権威である京大大学教授の参画を得て、大学発ベンチャーとして設立されたA社は、微生物を活用した土壤汚染の修復、余剰汚泥の消滅・削減等の業を展開。

慶応藤沢イノベーションビレッジ

施設概要:面積 1469㎡
:レンタルスペース 34室

成功の鍵

慶應義塾大学アントレプレナー・ラボラトリー（SIVラボ）をはじめとした、大学によるベンチャー育成プラットフォームの存在

概要

- 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)内に立地する大学連携型インキュベーション施設
- SIVラボにおいて学生ベンチャー育成にも注力
- 地元自治体(神奈川県、藤沢市)との連携による、充実した支援体制を構築
- 慶應義塾大学の基幹ネットワークとも接続可能とし、高速ネットワークインフラを完備
- 首都圏情報ベンチャーフォーラムとの連携体制を構築



地域への経済波及効果

(平成19年3月末時点)

- 入居企業数(入居率):27社(95%)
- 会社設立数:7社
- 商品化件数:7件
- 新規雇用:26人
- 産学等共同研究件数:12件
- 慶應義塾大学をはじめとした、地域の大学等との産学官連携事業の促進、活性化

● 主な入居企業 【A社】

これまでの環境対応自動車の中で、最も環境にやさしく、最も高性能な自動車が'Eliica'。当施設において、試作品の水準から商品の水準に近づけるための、電気自動車本体及び主要要素技術の開発と評価を行っている。

<主な関係機関>

(独)中小企業基盤整備機構、慶應義塾大学、神奈川県、藤沢市、
(財)藤沢市産業振興財団、地域の企業等

上田市産学官連携支援施設

施設概要:床面積 1796 m²
:レンタルスペース 18室

成功の鍵

会員企業組織（ARECプラザ）を設置・運営し、産学連携コーディネータが中心となって運営し、産学・産産の交流を促進

概要

- 信州大学上田キャンパス内に立地する、産学官連携に適したロケーション
- 設置主体である上田市からの運営補助金や人的派遣の支援はなく、自立運営
- 産学連携に限らず産産連携を積極的に推進(地域ものづくり製造中小企業187社とのネットワーク)
- 知的クラスター創成事業との連携による活発な事業活動
- (財)長野県テクノ財団浅間テクノポリス地域センター、知的クラスター創成事業の各コーディネータが常駐
- 中央自動車道沿線ネットワーク支援活動との連携体制を構築

地域の支援体制

- 上田市
- 佐久市・坂城町
- 長野県
- 上田商工会議所



連携ネットワーク

- 信州大学
- 長野高専
- 長野県工科短大
- 地域中小企業



地域への経済波及効果

(平成19年3月末時点)

- 入居企業数(入居率):18社(100%)
- 会社設立数:2社
- 卒業企業数:14社
- 商品化件数:5件
- 新規雇用:15人
- 産学等共同研究件数:16件
- 特許取得件数:12件
- 平成12年に産学連携支援組織が会員企業数36社で発足したが、平成18年度末には180社に増加。
- 主な入居企業【A社】
「JANBO award2004」「安藤百福賞」を受賞した企業が、地域企業と連携し、産業廃棄物の乾燥野菜化に成功し、連携企業が工場を新設している。

<主な関係機関>

信州大学、長野県、上田市、(財)長野県テクノ財団浅間テクノポリス地域センター、等

花巻市起業化支援センター 花巻市ビジネスインキュベータ

施設概要: 床面積 4202㎡〔貸オフィス、貸研究室、貸工場〕
: レンタルスペース 27室

成功の鍵

「先進的な常駐コーディネータの配置」と「市行政と一体となった地域企業支援」

概要

- 開設当初(H8年)から民間企業スピンアウト(当時40歳)の常駐コーディネータを配置。
(⇒「経営・技術・営業等の専門知識・経験を伴った支援」及び「異動により阻害される継続的な支援」の確保が狙い)
- 「入居型のインキュベーション施設」であると共に「市の内発型の産業振興策」の中核的機能を担う。
- 開設10年を迎え、新機能として研究施設(岩手大学複合デバイス技術研究センター)を設置。
- TOHOKUものづくりコリドーとの連携体制を構築

花巻市
～ 産業振興策 ～

企業誘致

有機的な連携

内発型
産業振興策

施策展開

岩手大学複合デバイス技術研究センターを開設し、
地域企業への研究開発支援機能を追加(H19.2～)
〔貸研究室〕

花巻市起業化
支援センター

3名の常駐コーディネータ
(全て民間企業スピンアウト)による総合的な支援

花巻市ビジネス
インキュベータ

支援センター
貸工場棟

製造業 & 都市型産業(IT・福祉)のインキュベータ
〔貸オフィス〕

企業誘致及び支援センター退所後のセカンドステージ〔貸工場〕

<主な関係機関>

- ・花巻市(開設者)
- ・JANBO
- ・岩手大学

地域への経済波及効果

(平成19年3月末時点)

- 入居企業数(入居率): 14社(85%)
- 卒業企業数: 30社
- 商品化件数: 167件
- 新規雇用: 151人
- 産学等共同研究件数: 11件
- 特許取得件数: 29件
- 市産業振興策の牽引役
市施策「内発型振興(地場企業支援)」の
実行部隊として産学連携の発掘・マッチング等
- 花巻市の「広報塔」
先進的な取組に対する視察受入は過去3年間で約3,000名。各種メディア掲載もあり市のPR効果に資し、企業誘致に貢献